

子ども健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)
論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル: Association between maternal prenatal psychological distress and autism spectrum disorder among 3-year-old children: The Japan Environment and Children's Study.

和文タイトル: 妊婦の精神的ジストレス(不安・抑うつ)と3歳児の自閉症スペクトラム症の関連

ユニットセンター(UC)等名: 福島ユニットセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Journal of Developmental Origins of Health and Disease

年: 2022 DOI: 10.1017/S2040174422000411.

筆頭著者名: 西郡俊絵

所属 UC 名: 福島ユニットセンター

目的:

本研究では、妊婦の精神的ジストレス(不安・抑うつ)と3歳児の自閉スペクトラム症との関連を検討しました。

方法:

妊婦(母親)の Kessler 6-item psychological distress scale (K6) が 5 点以上 ($K6 \geq 5$) を精神的ジストレス(不安・抑うつ)としました。

群 1: 妊娠前半期(中央値: 妊娠 15 週)と後半期(中央値: 妊娠 27 週)がともに $K6 \leq 4$ (46,463 組)

群 2: 妊娠前半期は $K6 \leq 4$ 、後半期では $K6 \geq 5$ (7,697 組)

群 3: 妊娠前半期は $K6 \geq 5$ 、後半期では $K6 \leq 4$ (10,629 組)、

群 4: 妊娠前半期と後半期がともに $K6 \geq 5$ (13,956 組)に分けて

生まれた子どもが 3 歳までに診断された自閉スペクトラム症との関連について解析を行いました。

結果:

全体 78,7451 組のうち、355 人の子どもが 3 歳までに自閉スペクトラム症と診断されました。多重ロジスティック回帰分析の結果、3 歳児の自閉スペクトラム症は、妊婦(母親)が妊娠前半期と後半期がともに K6 が 4 点以下であった群と比較して、妊娠前半期と後半期がともに K6 が 5 点以上であった群(群 4)は有意に調整オッズ比が高いことがわかりました(調整オッズ比 1.440; 95%信頼区間, 1.104-1.877)。一方、妊娠前半期あるいは後半期のいずれかの時期のみ K6 が 5 点以上であった群(群 2 と群 3)との差はありませんでした。

考察(研究の限界を含める):

海外の研究でも、妊婦の不安や抑うつなどのメンタル不調は、その子どもの自閉スペクトラム症のリスクとなることが報告されています。しかし、どの妊娠時期のメンタル不調が、子どもに影響を与えるのかは一定の見解がありません。本研究の結果では、妊婦のメンタル不調が、妊娠前半期と後半期に継続してあった場合のみ、子どもの自閉スペクトラム症のリスクとなることが示されました。これは、妊娠早期にメンタル不調を発見し、改善させることで、子どもへの影響を予防できる可能性を示しています。研究の限界として、妊婦の精神的ジストレスは、母親の自記式の調査に基づいており、医療機関において医師に診断されたものではないことが挙げられます。

結論:

妊婦の精神的ジストレスが、妊娠前半期と後半期の両方の時期に継続してあった場合のみ、その子どもの 3 歳時における自閉スペクトラム症のリスクが高くなることがわかりました。ただし、精神的ジストレスが妊娠前半期あるいは後半期のいずれかの時期のみしかない場合は、生まれた子どもの自閉スペクトラム症のリスクと関連はありませんでした。